

議 会 改 革 特 別 委 員 会

日 時	令和 6年 2月16日 (金) 閉会中	10時49分 開会 11時21分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 大会議室	
出席議員	(委員長) 15番 原口康之 (副委員長) 5番 加藤 彰	
	1番 石山和生	2番 谷口恵世 3番 絹村智昭
	4番 名波和昌	6番 木村正利 7番 松下定弘
	8番 種茂和男	9番 濱崎一輝 10番 植田博巳
	12番 太田佳晴	13番 中野康子
	16番 村田博英	
欠席議員		
傍 聴		
事務局	局長 田形正典 次長 本杉裕之 書記 植田容子 書記 中田 綾	
説明員		

署名 _____ 議会改革特別委員長

[午前 10時49分 開会]

開会の宣告

○議会改革特別委員長（原口康之君）

それでは定刻になりましたので、議会改革特別委員会を開催いたします。

2 協議事項 (1) DX研修会について

○議会改革特別委員長（原口康之君）

前回の特別委員会でDXの推進についてということで進めていくというところで、まず研修会
辺りから推進していったらどうかというご意見があったと思いますので、まずDXの研修会を開
いていきたいと思いますので、1、目的として全国的にデジタル活用によるDX（デジタル・ト
ランスフォーメーション）が急速に進展している。議会として、この定義と本質を学び、時代に
即した議会運営と議会改革の目指すべき姿を明確にするというところで、牧之原市の市長部局の
ほうでも改めて推進を進めているところでもありますので、議会もそれに沿った形でというところ
で、2番目として、少し講師をこちらで考えてみましたので、講師の紹介を事務局のほうからお
願いいたします。

○事務局書記（植田容子君）

それでは、資料1のところですね、引き続きよろしく申し上げます。

2の講師についてですが、まず、講師の川口弘行さんです。プロフィールになりますが、この
方ですが、主にICTコンサルタント、コンサルタントの業務や総務省の地域情報化アドバイザー
としてご活躍をされている方です。港区の情報政策監をはじめとして、いろいろな省庁や全国
の自治体でCIO補佐官等を歴任しております。

県内では、湖西市や富士市においてアドバイザーを務めています。牧之原市におきましても、
2023年5月18日からCIO補佐官を委嘱しております。全国の自治体を見てきた豊富な経験と
知識を生かして、市のDX推進について広くアドバイスをいただいております。

専門知識だけではなくて、行政にも精通している方で、講演、研修の実績については、県内の
議会ですと湖西市議会のほうで、この方をお願いしてやっているようです。それ以外に、全国の
自治体でも研修等の実績が数多くありまして、豊富な経験を生かして、研修をお願いしたいと考
えております。

講師のプロフィールについては以上となります。申し上げます。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。ここまでで皆さんのほうから何かご意見があったら、お願いいたしま
す。

[「なし」と言う者あり]

○議会改革特別委員長（原口康之君）

それでは特にないようですので、3番の研修会についてというところで、研修会については開催日程として、講師の先生は少し忙しい方のようなようですので、4月から5月を一応予定して、時期としては4月から5月、全員協議会後に研修をやるというところで、これから進めていきたいと思えます。

そして、研修の実施方法についてはオンラインによる研修を実施していきたいと思えますが、どうでしょうか。皆さんのほうからご意見をお願いいたします。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会改革特別委員長（原口康之君）

特にないようですので、それではこのような形で進めていきたいと思えます。

2 協議事項 （2） DX以外の調査・研究事項について

○議会改革特別委員長（原口康之君）

2番目として、DX以外の調査・研究事項についてというところも、前回の特別委員会で上がっていたと思えますが、この件について皆さんのほうからご意見をお願いいたします。

石山委員。

○1番（石山和生君）

DX以外の調査ということだったと思うので、議会基本条例をもう一度見て、実際に今、議会運営がどうなっているのかというところを皆さんで話し合っ、もしそこにそごがあれば、そういったところを調査研究していくというのがいいんじゃないかなと思うんですけども、という一意見を伝えておきます。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。その件については、最初、改選の時期に関して一応見直すというところを検証していると思えますので、今後そういったことも、DXの推進についてを進める中で、その後、そういったところも進めていきたいと思えます。よろしいですか。

石山委員。

○1番（石山和生君）

今、その後とおっしゃっていたので、DXが終わった後にやるということですか。それとも同時進行でそもそもやるという話。どっちでしたっけ。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

今、DXについて推進していくに当たって、今全体でやってるものですから、それを実際にもう一つ踏み込んだときに、内容的に全員でやるのはどうかという意見が出たところで、分割してやるようでしたら、その部分に関してやっていければなと考えています。よろしいですか。

石山委員。

○1番（石山和生君）

今ここで何も出ないと、DX以外はやらないということで決定するという、そういう場ですよ。DX以外の調査・研究事項についてで、誰も意見をしなかったとなったら、DX以外やらないみたいな話になりますよね。そこだけまず確認させてください。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

DXについてどのくらいで終わるかというのを、ある程度、条例の改正までいければなど考えているので、そこまで行った時点で、あと残りが1年半ぐらいあるものですから、その時点で次の議題に上がってきたら、そういうことも検討していけばいいのかなと思いますが、どうでしょうか。

石山委員。

○1番（石山和生君）

皆さんはどういう意見なんでしょうか。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

木村委員。

○6番（木村正利君）

当然DXの推進と、それに、条例の改正と今、委員長のほうから発言がありましたので、そのところのもう一回見直しという面では、それぞれの議員検討とDX推進と同時進行でやっていないといけないかなと私は感じるんですが、いかがでしょうか。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

DXに関しての条例というところで、議会改革自体の条例をどうかというところは。

木村委員。

○6番（木村正利君）

言い方的に誤解があったらあれなんですけど、もう一回、中身の見直しという意味の検証というつもりで今言っているんですが。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

すみません、中身の検証をするということですか。

濱崎委員。

○9番（濱崎一輝君）

これまでの議会改革特別委員会で振り返っていくと、テーマを一つにするのか、二つにするのか、三つにするのかということで、グループ分けをするか、しないかというところだと思うんですね。だから今のところのDX研修を全体でやっていくということなので、分科会とかで分けずにやっていくというふうに捉えることができるんですけど、今言ったように、ほかのことをやりたいよということになれば、その案をここで出していくという、そういうところなので、出てこない、これだけで1本で行ってしまうという認識だと私は思っています。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

よろしいかと思えます。

石山委員。

○1番（石山和生君）

なので、DX、多分そもそもの議長の方向性を示すときにも、DX以外のこともやるんですよみたいな文脈があって、あえて今DX以外の調査事項というのが出てきたというふうな文脈だったとあって、これはDXが終わってからやるものみたいな話だったと思うので、そこはまず皆さん一致しているんですか。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

濱崎委員。

○9番（濱崎一輝君）

石山議員の言ったようなことで同意見というか、追従するとなると、議長のやりたいという中で、学校の推進というのがあったじゃないですか。大学とか。その辺はやりたいことの中にあるんだけど、それがここにそぐわなければほかのものをやればいいしというところなので、それは一つの考え方ですけど、そういうふうにして議長のやりたいことになれば、そういったものも一つあるかなと思うし、また全然違うものやっても、それは別にいいかなと思います。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

谷口委員。

○2番（谷口恵世君）

議会基本条例の改正は、確かに議会が始まったときに私たちもすぐやるということで、そのとき内容もそれほど私たちも深く分からずやったんですけど、改正ではなくて、議会基本条例の中身をもう一度読み込んで、例えば、中に会派のこととか、あといろんな項目があると思うんですけど、政務活動費のこととか。なので、その辺りを少し議会改革という意味では、もう一度中身の見直しで、皆さんが気になるポイントを少し議論するというのをやっていったらいいんじゃないかなと私は思います。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

そのほかは、大丈夫ですか。一応今回は皆さんのご意見を聞くということで、DX以外の調査と研究事項についてという項目に沿って上げていますので、皆さんに、これから検討していくにしろ、そのやり方とかいろいろあると思いますので、今回は皆さんから会派導入とか、議員報酬、政務調査費等々出ている検証というか、今、谷口議員のほうからそういうあれも出ていますので、その辺も含めて今後検討していければいいのかなと思います。

いいですか。

ほかは。

○10番（植田博巳君）

会派とか議員報酬という話はここで出ていないので、今出たのは基本条例の見直しという意見だけなので、それは出ていないので、それはどうかかと。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

すみません。基本条例の見直しというところの中での、そういうご意見というところですか。分かりました。

その部分に関しても、基本条例の見直しというところも、今後検討していきたいと思います。太田委員。

○12番（太田佳晴君）

今、基本条例の見直ししか出ていないんですけど、基本条例の見直しと称して、ずっとやっているんですよ。だから、そろそろ、その中で出た問題のあるところを抽出して、それをどのようにするかというふうにしていかないといけないと思うので、そんな感じで、もし進めるならお願いしたいなと思います。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

分かりました。その部分を少し検討だけじゃなくて、中身についても少し深く進めていくというところで進めていきたいと思います。

ほかは大丈夫ですか。

○事務局次長（本杉裕之君）

すみません私が意見を加えるわけではないので確認なんですけど、議会改革特別委員会でDXをテーマにやるわけですよ。今の発言を聞いていて、ほかに何か調査事項で、議会基本条例の見直しをやったらという話が出たんですけど、さっきも石山委員とかが聞いていたんですけど、同時にやっていくのか、それともDXのほうをまずやって片づいたところで、期間の余裕があればやるという、そういう考えなんですかね。それとも、同時に2テーマ、要は議会におけるDXと議会基本条例の2テーマを同時にやっていくのか。ただ、委員長の発言だと、多分DXをまずやっちゃいましょうね。終わって余裕があれば議会基本条例の見直しをやりますという、私、理解できないんですけど、そこはどういうふうな形で考えていますか。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

副委員長。

○5番（加藤 彰君）

まず、DX以外のテーマも取り上げたらどうですかということについて、皆さんから意見をもらったかどうかという意見が出ていたということがありまして、今回、協議事項の一つに挙げさせていただきました。その上で今意見を伺いましたところ、議会基本条例の中身については、少し突っ込んでテーマを絞って検討していったらどうでしょうかというようなことが出ました。

ただ、そこまでです。今日は。だと僕は思います。何が出るかも分からない。

ですので、今後進め方について同時に行くのが難しいのか、さらに言えば、DXの中身が何をやっていくかも今分かっていません。取りあえず勉強会をやって、ある程度、共通認識を持って、それで具体的な進め方をしていこうとしていますので、今後において、その辺も加味して、もし仮に2テーマにするのか、その辺は今ここで判断できませんけれども、ただ今は、この場でDX以外の内容についてどうですかというご意見を伺った段階じゃないでしょうか。

なので、それを取り上げて、どれを進めていくかはまた皆さんにご意見を伺わないと、正直物理的なものもありますので、それと事務局の体制もありますので、なかなか突っ込んで進められないというふうに思いますので、今日のご意見を伺ったということで、それを受けた中で、次の対応を考えたいということにしたらどうかなというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

太田委員。

○12番（太田佳晴君）

2年という時間って長いようで非常に短いんです。だから、まずは後半の体制を決めるときに、議長が所信を述べて、この2年間でこういったことをやっていきたいという、それを基に議会の議会運営委員会執行部が基本的な計画を練って、何をやるかということだと思えます。

でも、今日のお話、特別委員会をこうして開催して聞いてみたら、何もない、どうですかと皆さんに投げかけている。それで今、議運の委員長のほうからも、今日は皆さんに聞くんだということなんですけど、具体的なものについて問われれば、皆さんそれぞれ考え方は言えますけど、そもそも論から、2年なんてすぐたっちゃうと思えます。だからそこをもう少し、特別委員会を開催するときには、もう少しまとめてもらいたいなど、そんなふうに思いました。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

分かりました。今、調査事項というか、議会改革としての調査事項というものを皆さんから聴取しましたので、取りあえずはDXの研修についてというところで、ここは進めていくというところで、研修会というものを一つやると。これは全員でやるというところで決まった事項でいいと思うので、その後。

濱崎委員。

○9番（濱崎一輝君）

DXをやるのは全然問題ないし、いいと思うんですけど、全体でやるかどうかというのは、まず、二つのテーマでやるのであれば分けなきゃいけないと思うんですよ。同時にやっていかないと、時期的に半年ぐらい4月、5月になっちゃうので、多分1個終わってなんてやると、次のものも全然時間を取れなくなってしまうので、取りあえずは全体会として勉強会をやります。具体的に二つのテーマでやるのであれば、グループを分けてやっていかないと、ちょっと時間的に難しいのかなと思います。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

その部分に関して、今回はという部分があったと思いますが、DXの進め方の内容というところで。

植田委員。

○10番（植田博巳君）

DXの進め方の内容というのは、次にやればいい話だと思うので、今はDXは皆さんでやりま

すよという話。それから、基本条例の内容の確認検討についても声が出ているので、実施しますよということだと思っただけ、それを同時進行するか直列でやるか、終わってからやるかという話なので、それは同時進行でやらないと時間的にも無理でしょうという意見もあったと思っただけですけれども、その辺を副委員長のほうは、ちょっと検討させてもらって、次回にちゃんとした話をしますということだったので、そういう形で進めたらどうですか。それか、今決めちゃってもいいですけれども。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

議長。

○16番（村田博英君）

D Xについて、皆さん知識を深めなきゃいけないと思っただけですよ。研修会はぜひ全員で受けてやったらどうかと思っただけですけど、まずはそういう知識を深めるということをやったらどうかと思っただけですけれども。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

太田委員。

○12番（太田佳晴君）

ずっと気になっているんですけど、議長もよくD X D Xって、D Xと言いますけど、この先生の研修会の目的についても書いてありますけど、D Xって、デジタル活用によるデジタルトランスフォーメーションという大きなものなんですよ。牧之原市議会として後半、D Xを活用して何をやりたいかって、そこが一番大事なところだと思っただけです。D Xを勉強するんじゃないので。だから、それを今回研修をやるに当たっても、ゼロから講師の話聞いて牧之原市議会として進めるべきD Xを、何だということを考えるのか、委員長がこういうものをやりたい、D Xを活用するというのはあるのか、そこも整理しておかないと、ただ聞くだけになっちゃうんじゃないかなと、そんな気がします。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

今回の研修の内容についてというところで、緊急時のオンライン会議という部分とか、本会議場をこれからライブ配信とかという話も出てくると思っただけですが、その辺の部分の勉強というか、具体的にはその辺が中心になってくるのかなと、自分では今のところ考えていて、研修の内容も、その辺プラスどんどころがいいのかなという意見も聞きながらやっていきたいと思っただけです。

太田委員。

○12番（太田佳晴君）

委員長が、そのよう考えを持っているなら、例えば今日は検証をやるに当たっては、こういったことを中心に今後考えていきたいとか言ったほうが、みんな分かりやすいと思っただけです。だから、そういった順序をしっかりと諮ってもらいたいなど、そんなふうに感じましたので、発言しました。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

木村委員。

○6番（木村正利君）

いろんなご意見が出ている中で、DXというのは幅広いんですが、Zoomとか、デジタルとかという中で幅広い中でそれぞれ議員が思っている考えがあると思うので、もしそういうことの合意形成を図るんだったら、それぞれが目指しているところを今度の研修までに出していただいて、それに基づいた研修をやっていけば、もうちょっとDXの捉え方、私はずっとZoomミーティングなんかやっているんですね。だから、そういったこともそれぞれの議員さんの考え方が違っちゃると、本来DXの捉え方というのはそれぞれ持っている感触が違うと思うので、太田議員がおっしゃられるように、こうじゃないかという思いがあるんでしたら、それぞれの議員が研修までに思っているDXのことを、今回の研修会が活きるように、事前にそれぞれの思いを出していただいて研修に臨んだほうが、実のある研修会になるんじゃないかなと。

私はDXと言ったら、今Zoomミーティングを含めて、いろんなことはできている、それがDXだと思っていますし、今こうやって広報にしても、いろんな知らせ方もこれもデジタルを使っているやり方なので、それぞれが持っている皆さんの考えというのは、それぞれ個性があって違うと思うんですけど、そういう中を収集しながら、今度専門家に聞いていただいてということをやっていたほうが、そもそも論とかいろんなことを言っても、委員長の意見というよりも、そういうふうにしたほうが実のある研修会になるんじゃないかなと感じました。

以上です。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

濱崎委員。

○9番（濱崎一輝君）

以前の1月5日の全協の中で、議運の加藤委員長のほうから方針も出されているんですよ。出ているものですから、今これで言うと、一つが議員議会事務局におけるDC活用ということで、非常時、コロナ禍や災害時などにおいても審議を実質的に深める委員会等を開催できるようにすることと、それから平時に関しては育児、介護等の理由により委員会審議に出席を果たすことが困難な事情がある場合、その議員が委員会に出席できるようになるというのが一つ。

二つ目が、外部有識者や住民などの議会外との間のDC活用ということで、子育てや家事に忙しい女性や、デジタル技術に慣れた若者の声を聞く手段として、オンライン意見交換会の組織として行うことを目指す。効率化や経費削減だけでなく、多様な住民の議会への参加や住民に開かれた議会の実現に資するようなデジタル技術を積極的に活用するという活用方針が出ているものですから、それを研修の中で、これに沿ってやっていただきたいという形でやっていけば、ぶれずにいけると思うんですけど。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

絹村委員。

○3番（絹村智昭君）

今、濱崎委員が言われたように、ほとんどが市だとか県庁だとか、もっと大きい目標で議会として、個々の議員が何を便利にしたいのか、本当に目標意識がなくDXをやっても、我々の会社でもやっているんですけど、本当個々に上げてもらわないと、全然大きいDXなら分かるんですよ。便利ですし、庁舎だとか県で利用する仕事と。議会で何を便利にしたいのか、明確に2人が言ったような形で捉えないと、それよりも、谷口議員が言った見直しのほうが、私的には、いいなどは思っておりますけどね、両方やるなら。

以上です。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。先ほど言ったように、緊急時と平常時のオンライン会議とかという部分に関して、議運のときにそういう方針を出してきたと私も思っていますので、その辺に関して今回は研修を進めるというところで、その時点で、先ほど木村委員からも出たんですが、各議員でDXに対する知識とか、いろんな意味で私も差があると考えていて、私もそれに先行している議員に追いつきたいという気持ちもありますので、その辺の。

木村委員。

○6番（木村正利君）

中野委員、今おっしゃられたように、やっぱり手を挙げてというルールの中で私どもはやっていきますから、それを止めるのはやめてください。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

そういう意味で、これから今回、研修以外の部分に関しては、先ほど副委員長が言われたとおり、こちらでももう少し検討して、先ほど太田委員から指摘された部分を改正して進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ほかには。

○事務局次長（本杉裕之君）

先ほど濱崎委員が言われたように、1月5日の議運と1月18日の全協で、皆さんのところにDXの方針、基本的な考え方というのが示されています。それだけではなくて、今この話をしても、皆さんDXってざっくりで何も分からないと思うんですよ。会社でやられている方は分かると思うんですけど。

それで、今度この研修会で先ほど名前を挙げた先生なんですけど、この方は市のほうのDXのCIOでしたか、やられているものですから、当然この分野にたけた人なんですよ。それで今度、うちが研修会をやりましょうというのが、議会におけるDX、どんなものが考えられるかというのを研修のテーマとして上げて、それを皆さん聞いた上で、こんなことも議会のできるのかな、こんなことが議会でやるのがDXにつながるのかなというのが、もしヒントが出れば、そこでそのテーマに向かってやっていけばいいと思うものですから、まずは、先ほどのDX研修会、CIOの方のものを全員で聞かれて、そこで議会でこんなDXで可能性があるよというのを聞いた上で、またそれが聞けないようでしたら、皆さんから先ほど言ったように、議会としてDXでは

かにどんなものがあるんですかと聞いてくれてもいいんですけど、ちょっとヒントを、勉強というか皆さん、議会におけるDXのヒントを得るための研修というような形で捉えてもらって、今後進めていったらどうかと思います。

○議会改革特別委員長（原口康之君）

よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

2 協議事項 （3） その他

○議会改革特別委員長（原口康之君）

それでは、その他というところで、皆さんよろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

事務局のほう、大丈夫ですか。

それでは、これで議会改革特別委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。

〔午前 11時21分 閉会〕